



おの であしろういち  
**小野寺昭一** 議員  
(八起会)

## 保育料を2人目から無料

### 今は踏み切る状況にない



次代を担う子どもたち育成の支援策を

**小野寺議員** 子育て支援として、現行の保育料第2子半額、第3子以降無料を第2子から無料に、小学校6年生までの医療費助成を中学3年生までに拡大すべきではないか。

**市長** 保育料は国の基準と比較し56%の軽減であるほか、第3子以降を出産した場合は、出産祝い金を1人5万円支給

しているなど、八幡平市の子育て支援は充実していると自負している。財政負担も伴うことから第2子の無料化までは現在踏み切る状態になく、医療費助成の拡大は慎重に検討すべき課題と考える。子育て支援策は、次期総合計画を策定する中で、施策の優先順位を考慮しながら検討したい。

#### 投票所再編後の市議会議員選挙

**小野寺議員** 投票所を44カ所から15カ所に再編して初めて行われた4月27日の市議会議員選挙の投票率は70・68%と、前回の76・51%を5・83ポイント下回ったが、この結果をどうのよう捉えているか。

**選挙管理委員長** 投票率の低下は全国的な傾向で、再編が大きな理由とは捉えていない。若年層の投票率が低かったことから、国や県と連携して啓発に取り組みでいきたい。

**小野寺議員** 4月26・27日の臨時バスの利用状況と効果は。選挙管理委員長 26日はゼロ、27日は41人、21日から25日まで

でのコミュニティバス利用は31人で、利用率は低かったが、投票のためにバスを利用したという面では効果があったと考える。今回の結果を踏まえて、さらに有権者が利用しやすい手法を検討していく。

●他の質問事項 地方交付税について



わた なべ よし みつ  
**渡辺義光** 議員  
(新政クラブ)

## 26年後、市の人口は半減 人口減対策を重点施策に



旧安代町では平成17年に議場を使って子ども議会を開催した

**渡辺議員** 日本創成会議が試算した平成52年の八幡平市の人口は半減、若年女性69・3%減で「消滅可能性都市」と報じられている。人口定住化、減少対策の具体的考えは。

**市長** 第2次八幡平市定住促進計画を策定中で、各種団体と情報を共有し、市政の重点施策として一体的に取り組む。

**渡辺議員** 住環境整備構想を早期に実現すべきである。

**市長** 西根バイパス完成で車の移動や消費動向などが変わる。分析して政策を進める。

**模擬投票・議会実践** **渡辺議員** 初めての選挙公営、選挙公報発行、投票所や掲示板削減などで執行された市議

会議員選挙の投票率は前回を下回った。小中学生の模擬投票や模擬議会などで選挙学習を進めてはどうか。

**選挙管理委員長** 実践の機会があれば、事務的補助などは積極的に協力したい。

**学力向上に新聞学習** **渡辺議員** 市内の中学生が岩

手日報「声」の欄に投稿している。学校での新聞を活用した教育（NIE）の考えは。

**教育長** 学習指導要領に基づき、国語や社会の学習など新聞を活用した学習を進めている。小学校で新聞を読んでいる児童の国語、算数の正答率が高い傾向があり、今後も必要に応じて取り入れていく。

**市民音頭・賛歌作成** **渡辺議員** 合併10周年、希望郷いわて国体など、市民運動拡充と一体感醸成のために、踊りなどがついた市民音頭や賛歌を作成してはどうか。

**副市長** 「八幡平旅情」など八幡平市らしい音楽は必要。実行委員会などで検討したい。



ふる かわ つ よし  
**古川津好** 議員  
(緑松会)

## 県道大更八幡平線に愛称

### 関係者の意見聴収後判断



駐車場は完成、あとは流木の撤去

**古川議員** 明治百年記念公園沿いの県道大更八幡平線は、サクラとツツジが咲く季節は素晴らしい景観である。愛称をつけてはどうか。

**市長** この近くには東北でも数少ない温水路や小水力発電もあり、非常に環境が優れている。観光関係者や道路利用者の意見を聞き、判断したい。

**古川議員** 木の花が咲く道路なので、例えばアジサイなどを増殖して「木の花ロード」とし、花の咲くたびに、観光客が来るようにできないか。

**市長** 小水力発電所の発電、あの道路にイルミネーションをつけ、道路を飾りたいという思いもある。現実難しいが、宣伝効果は上がると思う。

#### 松川玄武岩溪谷の復旧

**古川議員** 昨年の災害で、松川玄武岩溪谷付近一帯の駐車スペースが確保できない。観光スポットでもあり、早急な復旧が必要ではないか。

**市長** 土砂撤去や流木処理は、県が本年度内に実施する予定である。

#### ジャパンエスジー導入

**古川議員** 地場産品の販売促進のため、市（地方自治体）が中心となったインターネット利用の取り組み（通称ジャパンエスジー）はできないか。

**市長** 特産品の販路拡大ではメリットが大きいと思うが、現在の制度の運営方法はフェ

イスブックとの組み合わせであることや、年間運営費に約200万円の負担があることから、市のホームページと各業者のサイトをリンクさせることなども含めて慎重に検討したい。

●他の質問事項 学校再編、選挙の投票率について





たかはし まもる  
高橋 守 議員  
(八起会)

## 子ども子育て支援新制度

### 円滑に移行を進める



唯一の幼稚園であるひなぐく幼稚園

**高橋議員** 八幡平市の幼児教育の重要性への認識は。

**教育長** 子どもたちが心身ともに健やかに成長していく上で、幼児教育は重要と考える。

#### 新制度の移行時期

**高橋議員** 幼稚園から新制度への移行時期は、柔軟に取り扱い、いつでも移行できるよ

うにしておくことが重要と考えるがどうか。  
**市長** 新制度は、来年4月1日から施行されるが、移行は27年度に限られるものではなく、28年度以降でも移行できるものである。

#### 市民などへの周知

**高橋議員** 八幡平市の新制度

への取り組みを、市民や保護者などどのように周知・説明を行っていくのか。

**市長** 国からの新制度のパンフレットを幼稚園や保育所、つどいの広場などへ配布するほか、市役所、各総合支所の窓口にも備えつけている。また、広報はちまんだいなどで市民や保護者に対し周知して

いく。幼稚園の保護者については、必要に応じた説明をしていきたいと考えている。

#### 就園奨励費事業に国基準以上の補助

**高橋議員** 国の補助基準以上の就園奨励費事業を実施し、充実を図るべきではないか。

**教育長** これまで所得状況に

応じた幼稚園就園奨励費補助金事業を実施し、昨年度からは小学3年生以下の兄弟姉妹がいる世帯の第2子以降の園児を対象とした負担軽減措置を拡充するとともに、第3子以降の園児は所得制限を撤廃するなど補助対象を拡大し、保護者の経済的負担を軽減している。



きたぐち かずお  
北口和男 議員  
(無会派)

## 就労継続支援A型事業所

### 開設・併設の可能性打診



就労継続支援B型事業所のボパイの家

**北口議員** 八幡平市は障害のある人が人口減少に反して増加傾向にある。社会の一員として地域で働くため、市内に就労継続支援A型事業所があればよいと思うが対策は。

**市長** 市内の就労継続支援B型事業所とともに、A型事業所の開設または併設の可能性を打診していく。

#### 病児・病後児保育サービスの事業化

**北口議員** 市内に病児、病後児保育を行う施設がない。事業化を推進すべきではないか。  
**市長** 病児、病後児保育事業には医療機関との連携が欠かせない。市の実績に即した形で検討していく。

#### 河床土砂や雑木の除去が大災害防ぐ

**北口議員** 河川の河床土砂や雑木除去の遅れで、昨年の大災害が発生している。今後の対策は。  
**市長** 再発の防止や緊急性の高い箇所から優先して除去を進めている。完了していない

箇所は引き続き実施するとともに、まだ相当数の箇所があることも考えられることから、今後もパトロールなどで被害箇所を確認して処理を進める。  
**北口議員** 国道282号、特に田山地域から湯瀬温泉までの区間は冬期間、暴風雪で視界が悪くなる。注意信号機の設置が必要ではないか。

**市長** 県では、急に視界が悪くなる箇所があれば、現地の状況を把握し、手前に注意喚起標識などの設置の検討が必要と考えている。市も必要な安全対策を県などに働き掛けていきたい。

●他の質問事項 医療の充実について



えんどう きみお  
遠藤公雄 議員  
(自由クラブ)

## 昨年発生の大災害復旧状況

### 次年度の営農に影響なし

**遠藤議員** 昨年9月を中心に発生した大雨被害による松川流域と涼川、染田川流域の復旧工事の進捗状況と、農地の今期の作付けの見通しは。

**市長** 県が管理する松川の河川被害19カ所のうち、11カ所は工事中で年度内完成を目指している。残る箇所も順次発注を進めている。市が管

理する松川流域の道路災害2カ所と橋の災害1カ所、涼川流域の河川災害3カ所、染田川流域の河川災害1カ所は全て秋ごろまでの完成を目指している。農地は、国庫補助事業の復旧する面積は25・8畝で復旧状況は約50%、市単独の小規模災害復旧事業は申請75件のうち、63件が復旧済み

で、早期の復旧を目指し、次年度の営農に影響がないようにと考えている。

**遠藤議員** 今期作付けできない場合、見合うような補償はないのか。

**農政課長** 現行では、被害を受けた所得の補償制度はない。  
**遠藤議員** 染田川大滝の流木の処理は今後どうなるか。



台風18号で被害を受けた染田川

西根老人憩いの家の引湯管の本復旧工事の見通しは。

**市長** 今回の補正予算で計上している本復旧工事設計業務を実施した結果を踏まえ、冬期間にかからないように着工時期を決定したい。

●他の質問事項 投票区投票所の見直し実施について





まい た さだ お  
**米田定男** 議員  
(日本共産党)

## 新西根病院は現在地周辺

### さまざまな視点から検討



新西根病院の建設場所はここに

**米田議員** 本来、西根病院の建設場所を検討する場合に基本的な視点とすべきなのは、医療施設として病院が果たすべき役割を踏まえることであるが、「西根病院あり方検討委員会」の報告書で検討されたのは場所の利便性や土地の形状、敷地面積、公道との関係、交通機関との関係、道路

環境の6点のみである。基本的視点が欠落していると言わざるを得ないが見解は。また、「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画」では「駅東地区には、集客性のある病院などの施設の立地を進める必要がある」とある。施設が果たすべき役割とは関わりなく、特定

の地域の振興を唯一の目的として建設場所を判断するのが妥当だと考えているのか。**市長** 新病院の役割という視点で建設候補地の検討を行うのも一つの考えであるが、利用しやすい立地条件や経営の健全化から人口が集積している地区への立地ということも重要であると認識している。

さまざまな視点から検討して建設候補地を決定したい。病院建設の目的は、特定の地域の振興ではないことをご理解いただきたい。

**米田議員** 「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画」でも、「西根病院あり方検討委員会」の報告書でも、新病院を建設するに

当たって、現在地周辺が場所として決定的な弱点があるのか、また医療施設の場所として長所は何か、という検討が一切ないのは問題である。**市長** 市内には12のJR花輪線の駅がある。12の駅が病院と一本の鉄路で結ばれることが、市民の利便性につながると考える。



やま もと さかえ  
**山本 榮** 議員  
(日本共産党)

## 振興計画事業の早期実施

### 地域と協働しながら支援



田山地域「だんぶり長者屋敷跡」

**山本議員** 安代地区の人口は、合併時より20%減少しており、歯止めをかけ地域の活性化を図るため、各地域振興協議会が策定した地域振興計画書に盛り込まれた事業を早期に実施する必要がある。田山地域振興協議会の地域振興計画書では、「だんぶり長者の里づくり」を計画し、事業主体を

公共としているものに産直施設「川の駅」の設置や「だんぶり長者」ほこら周辺の道路舗装とモニメントの設置、特産品加工場の設置、田山スキー場にパークゴルフ場の整備、老人アパートの整備、流雪溝の設置などがある。事業実施には市の全面的支援が必要であるが対応の考えは。

**市長** 地域の皆さんの総意で作り上げた地域振興計画の実現に向けて、地域の自立と活性化の推進を支援するため、昨年から実施している地域担当職員制度や地域づくり一括交付金制度を活用していただき、地域と協働しながら支援していきたい。地域振興計画書を市に提出したことで、要

#### 地域づくり一括交付金

**山本議員** 26年度から創設した「地域づくり一括交付金」は、これまでの協働によるまちづくり補助金に、ごみ集積所整備事業補助金と防犯灯設置費等補助金分の相当額として

望書になるものではないことをご理解いただきたい。**市長** 1割増やしたのは、過去3年間の事業実績額の平均から配分したもので、ごみ集積所や防犯灯だけに用途を限定していない。総額の範囲内で地域の事情に応じて計画的にまちづくり事業を行っていただきたい。



たか はし えつ ろう  
**高橋悦郎** 議員  
(日本共産党)

## 中学卒業まで医療費無料

### 将来的には必要だと思う



少子化対策を抜本的に改めるべき

**高橋議員** 八幡平市の人口は合併時の3万1766人から約4000人減少した。市総合計画後期計画で、27年度人口推計を3万1000人と定めたのは、現実とかけ離れているのではないかと。市

業振興、企業誘致などに積極的に取り組むことで、3万1000人を目指すとうと高い目標値にした。**高橋議員** 人口減少問題を考えるとき、現実をどう直視するかが出発点になる。八幡平市の0歳から14歳までの「少年人口比率」は、昨年度で県内14市の中で最下位の10・1

%だった。県内全市町村で見ても下から6番目である。八幡平市より条件の悪い町村より、少子化が深刻であることをごのよう認識しているのか。**副市長** 少子化は、非常に厳しく受け止めなければならない。子育てしやすい環境を目指す、転出する人からは雇用の場や交通の不便さ

市長公室長 人口推計は、前期計画と同じにして、合併による魅力あるまちづくりや産

などを提言されている。限られた財源の中で、何を優先すべきか、今後の施策を検討していきたい。**高橋議員** 市内外に子育てを応援するまちであることをアピールするため、「子育て応援条例」を策定し、「子育て応援の町宣言」を行うことを提案したい。その手始めに、

中学校卒業まで医療費無料化を実施するべきだ。現在、小学校卒業までの医療費無料化に過疎債を使っているが、中学校卒業までになると、市の負担はいくらか。**市民課長** 中学校卒業まで医療費無料化にすると、市の負担は年間約390万円ほど見込まれる。